

消防局予算の概要

1 予算編成に当たっての考え方

市民の生命・財産を守るという消防の使命を達成するため、コロナ禍においても、あらゆる災害に的確に対応する消防体制の確保や火災予防の推進はもとより、消防団や自主防災組織をはじめとした地域防災力の向上を着実に図れるよう予算編成を行った。

主要な施策として、消防対策については、消防自動車や活動機材等の整備及び経年防火水槽の補強・補修を行うなど、消防体制の維持・向上を図る。

また、令和2年度から運用を開始している、救急安心センター事業について、市民に安心・安全を提供できるよう、京都府及び府内消防本部と連携し、引き続き効果的な運用に努める。

予防対策については、民泊等への火災予防対策を推進するほか、住宅用火災警報器の交換・設置促進など、地域・事業所と一体となって、出火・焼死者防止対策に取り組む。

消防団対策については、女性や学生をはじめとする若年層の入団促進に引き続き取り組むとともに、消防団充実強化実行チームの活動を積極的に支援するなど、消防団の更なる充実強化を図る。

地域防災対策については、「共助」の要となる自主防災組織の充実強化を図るため、自主防災組織の相互連携や活動を支援するとともに、幅広い世代と共に防火防災に取り組み、安心・安全の地域づくりをより一層推進する。

2 消防局主要施策の概要

項 目	主 要 施 策 の 概 要	本年度予算額	前年度予算額
< 消 防 局 所 管 >	一般会計合計	千円 20,555,000	千円 23,154,000
1 消防体制		2,465,730	2,693,714
消 防 対 策	消防活動維持管理・整備 消防活動機材等整備 消防ヘリコプター運航管理 消防自動車維持管理 消防車両整備 消防自動車，救急自動車 消防防災通信維持管理・整備 指令システム維持管理 など 消防水利整備 防火水槽の補強・補修 水道事業特別会計繰出金 救急高度化事業 メディカルコントロール体制の推進 救急安心センター事業 応急手当の普及啓発	720,031 383,000 870,400 45,000 262,599 99,300 25,100 4,300	690,500 478,000 1,058,451 45,000 228,363 100,900 16,000 4,300
予 防 対 策	予防消防推進 民泊等に対する火災予防対策の推進 文化財防火対策 など	56,000	72,200
2 消防団体制		726,069	845,951
消 防 団 対 策	消防団活動 報酬，手当，退職報償金，災害補償費 消防団充実強化実行チームの活動支援 京都市ジュニア消防団の活動支援 など	629,200	658,900

(消防局－1)

項 目	主 要 施 策 の 概 要	本年度予算額	前年度予算額
		千円	千円
	消防団運営 京都市消防団協会交付金	42,000	42,000
	消防団施設補助	25,000	25,000
	消防団活動機材等整備	29,869	120,051
3 地域防災力の向上		148,660	163,660
地 域 防 災 対 策	自主防災組織の災害対応力の充実 自主防災組織活動助成金 北部等山間地域自主防災組織消火活動器材整備助成金 など	16,100	16,100
	市民防災センター管理運営	132,560	147,560
4 消防管理運営		17,214,541	19,450,675
人 事 管 理	職員給与	16,553,000	16,979,000
	職員の安全衛生管理, 給貸与品など	165,400	164,412
庁 舎 管 理	庁舎管理 庁舎維持補修 など	496,141	2,307,263

(消防局-2)

